



まちフォト

— 復興まちづくり —

「雪だるま短冊」に願い事

12月16日④・17日⑤：糸魚川地区公民館



被災地に賑わいの光を灯そうと、まちづくりらぼ（復興まちづくり情報センター内）の主催でイルミネーションの設置を企画しました。点灯式1週間前には、市内の子どもたちに呼びかけ、イルミネーションに飾る「雪だるま短冊」に願い事を書きました。

第12回子どもぞうきんコンテスト作品寄贈式

12月18日⑥：市役所



飛騨市の市民団体「やってみよう展実行委員会」が2006年から取り組む「子どもぞうきんコンテスト」。今年は糸魚川駅北大火からの復興をテーマに実施されました。市内から応募した25点を含む全442点を市に寄贈いただき、被災者の皆さんに届けました。

駅北 火の用心 夜回り隊

12月22日⑦：被災地周辺



被災した大町・新七・緑町区で組織する駅北 火の用心 夜回り隊が、小・中学生から応募された標語を掛け声に火の用心を呼び掛けて回りました。

「火災ゼロ 防火の意識と 近所の輪」
「寝る前に 必ず確認 火の用心」
「火事がない 安全第一 糸魚川」

イルミネーション点灯式

12月22日⑧：にぎわい創出広場



復興のシンボル「にぎわい創出広場」に、眩いばかりのイルミネーションの光が点灯しました。当日は、天候にも恵まれ、夜空には三日月が優しく見守り、これからの復興を願ってくれているようでした。

点灯は、夜回り隊を代表して小学6年生の男女2名が行い、「火の用心に気をつけます」と話しました。